

別表4

防火対象物自衛消防隊の編成と任務(その2 地区隊)

地区隊長(担当区域の初動措置の指揮体制を図るとともに防火対象物自衛消防隊長(本部)への報告連絡を行う。)		
地区隊の編成(平常時)		
()階 地区隊長 ()	<ul style="list-style-type: none"> — 通報連絡班 () — 初期消火班 ()() — 避難誘導班 ()() — 応急救護班 ()() — 安全防護班 () 	()階 地区隊長 ()
()階 地区隊長 ()	<ul style="list-style-type: none"> — 通報連絡班 () — 初期消火班 ()() — 避難誘導班 ()() — 応急救護班 ()() — 安全防護班 () 	()階 地区隊長 ()
()階 地区隊長 ()	<ul style="list-style-type: none"> — 通報連絡班 () — 初期消火班 ()() — 避難誘導班 ()() — 応急救護班 ()() — 安全防護班 () 	()階 地区隊長 ()
()階 地区隊長 ()	<ul style="list-style-type: none"> — 通報連絡班 () — 初期消火班 ()() — 避難誘導班 ()() — 応急救護班 ()() — 安全防護班 () 	()階 地区隊長 ()
平常時の任務		警戒宣言発令時の組織編成と任務
通 報 連 絡 班	防災センターへの通報及び隣室各室への連絡	情報収集担当として編成し、テレビ、ラジオ、インターネット等により情報を収集する。
初 期 消 火 班	消火器等による初期消火及び本部隊消火班の誘導	点検班として編成し、担当区域の転倒、落下防止措置を講ずる。
避 難 誘 導 班	出火時における避難者の誘導	平常時と同様の編成とし、本部の指揮により、避難誘導を行う。
応 急 救 護 班	負傷者に対する応急処置	応急措置班として編成し、危険箇所の補強、整備を行う。
安 全 防 護 班	水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、防火シャッターの操作	点検班として編成し、上記の消火班の任務に同じ。